



土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」 アンケートのまとめ

第8期 多治見の歴史探偵になろう③ 11/30
100年前にタイムトラベル
～オリベストリート・抹茶体験・修道院～

I. 受講生より

・多治見市は、陶器や抹茶体験などいろいろなことができる場所だと思いました。多治見市には歴史が詰まっていると今日の歴史探検でよく分かりました。



これからの社会で活かしたいと思いました。もっと多治見市をよくするためには、外国人や観光客などに、多治見市は陶器が有名なんだということが分かるようにすることを、私も考えたいと思いました。



・抹茶体験の時に、古田おりべさんがオリジナルの

陶器を全国に広めたことを初めて知ったので、うれしかったです。

・古田織部は、それまでの常識を打ち破って新たなものを生み出し、広める力をもっていたということを知り、子どもは今回初めて知ったようです。このように発想力のすぐれた人物が由来となったオリベストリートのある「わがまち多治見」を誇りに思っているようです。

・「修道院は昭和5年に建てられたんだって。」教えていただいたことをすぐに教えてくれました。オリベストリートを歩いて抹茶体験をさせてもらい、多治見の魅力的な部分に触れ、ますます自分たちの住んでいるこの多治見を誇りに思ったことでしょうか。貴重な体験をありがとうございました。

第9期 タイル博士になろう 12/21

I. 受講生より

・日本の90%もタイルを作っているからこの大切な町をもっと知りたい。

・多治見市が陶器産業が盛んなことは子どもたちも感じていると思いますが、タイルのイメージは少なかったと思うので、今回ふれる機会があつてよかったと思います。日本を支える産業だと思うので、これからは若い世代へ広めて多治見もさらに豊かになることを願っています。

①カネキ製陶所 見学

・私が一番よかったなと思ったのはタイル工場です。

わけは、社長さんの説明が分かりやすく聞きやすかったからです。

・工場のような普段は入れない場所に行けて土曜学習をととても楽しんでいます。



②丸万商会 貼り加工体験

・タイルを貼るときに工夫されていることなど教えてもらったことをうれしそうに聞かせてくれました。貴重な体験をありがとうございました。



③モザイクタイルミュージアム 見学

・何回か行ったことはありますが、解説を聞きながら、よい経験になりました。

(小3保護者)

II. 中学生ボランティアより

・今回一緒に体験した小学生はとても熱心に話を聞いていたり質問をしていたりして、地域のことをもっと知ろうという姿が多治見のよさであると思いました。



第10期 多治見ふるさとしごと塾
～将来マナビジョンII～

1/18

I. 受講生より

・参加してみて多治見市にある会社のやっていることを知ることができ、社会に出た時の仕事の仕方が分かったので、将来に活かしたいです。先生たちがしっかり教えてくれたのでよく分かりました。

(小6)

・多治見のまちが、こんなにも子どもに優しくしていたことが、参加してみて分かりました。

・まだ具体的に将来の夢が決まっているわけではないものの、今回の講座を通し楽しいと思える職業が見つかったようです。普段知る機会のない職業について説明をもらいながら体験できたのは親子ともにとても勉強になりました。準備等とても大変だったとは思いますが、本当に楽しい時間でした。



・準備等とても大変だったとは思いますが、本当に楽しい時間でした。

II. 中学生ボランティアより

・優しい人が多くいるところが多治見のよさです。また参加してみたいです。この温かい空気が、このまま続いてくれればいいなと思います。

・多治見には普段は関わらないけどたくさんの方の役に立っている仕事が多いと思いました。また、どのブースの人も笑顔で受講生と話しているところが印象に残りました。

・次回もボランティアとして参加して、もっと大切なことを学び、「多治見で生きた!」ということをおぼえて生きていきたいです。

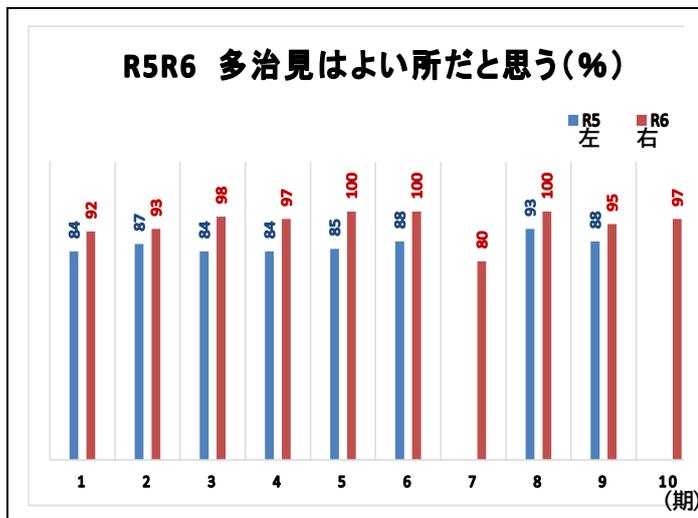


土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」 令和6年度のまとめ

1.ねらい

多治見市の伝統・文化・産業等について学ぶことができる貴重な機会であり、参加者や保護者からも好評を得ています。特にR6は、多治見に愛着をもち、多治見がよくなることを願い、行動できる人材が増えることを目標として実施しました。

2.実施直後のアンケートより



- ・勇気を出して講座に参加してよかった 100%
- ・多治見はよい所だと思う 98%
- ・多治見がもっとよくなるとよいと思う 98%
- ・自分も多治見のために何かしたい 90%
(例 ボランティア・よさを広める・将来関わる)
- ・多治見の文化や歴史を、熱い想いをもった専門家から体験を通して学び、学校区・学年・兄弟姉妹の枠にとらわれず活動グループを組み、心のつながりをもつことにより多治見への愛着が湧きました。また、90%の参加者が、自分も多治見の一員なので多治見のために何かしたいと願いをもつようになりました。これかも多治見のためにできることを増やしたいです。
※R6 参加者 766 人(うち中学生ボランティア 111 人)

3.教育行政評価報告書に関するアンケートより

「多治見市に愛着がありますか」の質問に「ある」「どちらかといえばある」と回答した市内児童生徒の割合
95.7% (小学校低学年) 88.9% (小学校高学年)
76.1% (中学生)
※令和5年度 91.6% (小学校) 72.8% (中学校)
多治見市全体でも多治見に愛着をもつ児童生徒は確実に増えてきています。

今年度、様々な場面で、土曜学習にご尽力いただき、本当にありがとうございました。

令和6年度 連合生徒会交流会

第36回連合生徒会交流会 8月5日(月) 駅北庁舎

『令和版 多治見市中学校宣言』の項目「一人一人が自分らしく生活できる居心地のよい集団を目指します」に関わり、前期の生徒会活動や後期に活動する内容について意見交流をしました。他校の生徒とのグループ交流もあり、積極的に話し合う姿が見られました。午後からは、日本プロスピーカー協会の安盛真樹子さんを講師として招き、リーダーとしての資質の育成を目的とした研修が行われました。



第37回連合生徒会交流会 12月27日(金) 駅北庁舎

各校の取組発表と中学校宣言「命や多様性を尊重し、自分や家族、仲間、地域の人を大切にします」について交流しました。各校の工夫ある活動や様々な意見に、生徒は刺激を受け、自校でも取り入れたいことを考えていました。

各校や多治見市のリーダーとして、これからも創意工夫のある生徒会活動が展開されることを期待しています。会の運営にあたり、各校の生徒会の皆さんや担当の先生方、ありがとうございました。

